

三二授業研 5年1組 社会科指導略案

平成18年5月31日(水) 5校時
教諭 皆川 寛 (場所: 教室)

1 授業について (参観時間帯: ■導入 □展開 □まとめ)

単元名	水産業のさかんな枕崎市 (かつお漁のしかた)・本時1/8
授業改善の主な視点	■発問・指示 □板書(ノート指導) □話し合い ■IT活用
本時の目標	一本釣りやまきあみ漁の写真からかつお漁に関心を持ち、水産業について調べる学習課題を作ることができる。
指導にあたって	<ul style="list-style-type: none"> 発問・指示を明確にし、児童が資料を読み取る時間を十分確保する。 回転寿司のメニュー表(実物)を実物投影機で拡大提示することで、日頃食べている水産物への関心を高めさせる。 教科書の写真(2枚)をプロジェクタで拡大提示し、写真から分かることや疑問に思ったこと、漁法の違いなどに着目させ、学習課題づくりにつなげる。
ITを活用する目的	<input type="checkbox"/> 課題の提示 ■動機づけ ■指示の明確化 <input type="checkbox"/> スキル定着 ■説明資料 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 体験の想起(振り返り) <input type="checkbox"/> 情報の共有 <input type="checkbox"/> 比較
活用するIT	<input type="checkbox"/> コンピュータ ■プロジェクタ ■スクリーン ■実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタルカメラ <input type="checkbox"/> ビデオ <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ <input type="checkbox"/> CD-ROM <input type="checkbox"/> スピーカー

2 授業の流れ

主 な 活 動	留意点・準備物など ★評価
1 どんな魚を食べたことがあるか、回転寿司店のメニュー表や湯飲み茶碗を見ながら話し合う。 発問: どんなお寿司のネタが好きですか。	・回転寿司店のメニュー表・湯飲み茶碗をプロジェクタと実物投影機でスクリーンに拡大投影する。
2 かつお漁の盛んな枕崎市の位置を地図帳で確認する。 指示: 教科書の図をもとに、地図帳で枕崎市を探しなさい。	・地図帳を実物投影機で拡大提示して位置を確認する。かつお節のマークがあることに気付かせる。
3 教科書で取り上げられている漁法を確認する。 発問: 2枚の写真のかつお漁の仕方は、それぞれ何と言いますか。 指示: 教科書から探してノートに書きなさい。(→発表)	・教科書の写真(一本釣りとまきあみ漁)を実物投影機で拡大提示する。
4 2枚の写真の共通点や相違点について話し合う。 指示: 2枚の写真を見て、同じところや違うところ、不思議に思うことをノートに書きなさい。(→発表) ・全体の様子 ・人や物(服装や道具) ・疑問など	・写真だけではなく、教科書の解説や資料集も同時に参照させながら、それぞれの漁法について分かることや違いを確認させる。
5 漁法の違いから、それぞれの長所を予想する。 発問: 自分が漁師だったら、一本釣りとまきあみ漁のどちらの船に乗りますか。	・小樽の寿司店のメニューを提示し、価格の違いから「なぜ」「どうして」という疑問をもたせたい。 (ゆさぶり→知的好奇心)
6 水産業について知りたいことを学習課題として整理する。 指示: これからかつお漁や水産業について調べたいことをノートに書きなさい。(→発表)	★漁法の違いなどから、水産業について調べる学習課題を作ることができたか。(思考・判断)
7 本時の学習感想をノートに書く。	